

令和5年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	袖ヶ浦健康づくり支援センター
施設担当課名	健康推進課
指定管理者名	公益財団法人体力づくり指導協会
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間のうち4年目）
利用料金制	☐ 導入 ☐ 一部導入 ☒ なし ※「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設の所在地	袖ヶ浦市三ツ作1862番地12
施設の設置目的	市民の健康増進のため
指定管理業務内容	市民への運動の提供と施設の開放事業ならびに施設の維持管理

2 利用状況

項目	今年度 計画値	今年度 実績値	対計画比 (%又は増減)	前年度 実績値	対前年度比 (%又は増減)
開館日数（日）	301	301	100.0%	301	100.0%
施設利用者数（人）	158,700	144,750	91.2%	112,455	128.7%
貸室（設備）稼働率（%）	0.0%	9.2%	9.2%	7.2%	2.0%
事業開催数	4,243	3,994	94.1%	2,791	143.1%

3 施設の経営状況

（単位：千円）

項目	今年度 計画値	今年度 実績値	対計画比 (%又は増減)	前年度 実績値	対前年度比 (%又は増減)
指定管理料	175,608	176,007	100.2%	177,867	99.0%
利用者当たり管理コスト	1.11	1.21	109.1%	1.58	76.3%
利用者当たり自治体負担コスト	1.11	1.22	109.9%	1.58	76.9%

[評価結果]

評価項目	評価基準	自己 評価	担当課 評価	
I 履行の確認				
1 施設全般の管理運営に関する業務				
(1) 職員配置	基準に基づき、適切な人員配置がされたか	B	B	
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	B	B	
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	B	
2 利用者に関する業務				
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は、適切な水準であるか	B	B	
(2) 利用[使用]料金	利用料金の設定、利用[使用]料金の徴収・減免・還付の手続は適切であるか	B	B	
3 保守点検並びに清掃等業務等				
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	A	A	
(2) 清掃業務・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか	B	B	
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	B	B	
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	A	
4 事業の実施に関する業務				
(1) 指定事業	基準に基づく事業が適切に行われたか	B	B	
(2) 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が適切に行われたか	B	B	
5 個人情報の取扱	個人情報の取扱いが適正に行われたか	B	B	
I の総括	当該施設評価項目数 《標準評価項目数 12 個》	12個	B	B
* 指定管理者の自己評価	○令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、ほぼすべての感染症対策が終了となった。定期的な換気は継続し、その他の対策においても状況に応じて適正に実施した。 ○機械設備、建物等の保守点検並びに環境美化管理および個人情報の取り扱いについては適正に実行した。 ○主催事業については、年間を通して開催した。幼児学童対象運動教室については受講定員を増加し、短期集中講習会もコロナ禍前と同等の回数を開催した。 ○自主事業についても年間を通して開催し、昨年度より4企画、17教室を増やして開催した。			
* 施設担当課の評価	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、ほぼ通常運転に戻る中、利用者数や事業開催数も昨年度と比較して増加しており、適切な管理運営がなされている。また、施設設備の修繕や保守点検は、適切に実施されていた。			
II サービスの質の評価				
1 利用者満足度	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか	B	B	
2 維持管理業務 (清掃、備品等の維持管理)	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	B	B	

様式5【指定管理者及び市作成】

3 運営業務 (貸出状況、接客対応等)	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	B	B	
4 指定・自主事業(事業内容の質)	実施された事業内容は、質の高いものであったか	A	B	
Ⅱ の 総 括	当該施設評価項目数 《標準評価項目数 4 個》	4個	B	B
* 指定管理者の自己評価	○利用者から寄せられた意見に適宜対応し、適正な管理に努めた。利用者アンケートはWEB回答と用紙記入の両方で行った。 ○清掃業者と連携し、適切な衛生環境管理を行った。また職員が定期的に巡回し、状態の確認、必要箇所の清掃を行った。 ○適宜研修を行い、適切な接客に努めた。 ○主催事業、自主事業ともに年間を通して開催し、好評を得た。結果、自主事業では市への利益還元が発生した。			
* 施設担当課の評価	主催事業・自主事業ともに安定的に運営ができており、管内設備の維持管理も適切である。			

総 合 評 価		Ⅰ・Ⅱ を合わせた総合評価		自己 評価	担当課 評価
				B	B
総合評価に係る 総括意見	指定管理者	○協定書・募集要項・仕様書・計画書に則り適正に実施し運営した。 ○新型コロナウイルス感染症の5類移行への対応等、担当課と都度協議・協力して適切に対応した。			
	施設担当課	協定書等に基づく適切な運営がなされており、新型コロナウイルス感染症の5類移行などの変化についても、市と連携し柔軟な対応が認められた。			
その他特記事項 (成果・改善等)	指定管理者	令和5年度は、状況に応じて感染症対策を行いながら、年間を通してすべての活動が通常通りに行えた。利用者数も昨年度比32,295人増となり、使用料収入127.9%、受講料収入115.5%となった。今後も状況を注視しながら、施設の存在意義を市民に示していきたい。			
	施設担当課	利用者サービスに対する取り組みは評価できるものであり、感染症対策も収束したことから、今後は更に利用者の増加を図った自主事業の実施に期待する。			

《評価区分》

①評価基準	A (優 良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である B (良 好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある D (要改善) = 協定書等の基準が遵守しておらず、改善の必要な内容である
②総 括	A (優 良) = 評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である B (良 好) = 評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である C (課題含) = 評価基準がすべてC以上である D (要改善) = 評価基準にDが含まれている
③総合評価	A (優 良) = 総括がすべてB以上であり、かつAが1つ以上である B (良 好) = 総括がすべてB以上である C (課題含) = 総括がすべてC以上である D (要改善) = 評価基準にDが含まれている